

～青年部、支援を知事に要望～ 「知事を囲んでの意見交換会」開催

平成26年11月11日(火)山形市のホテルメトロポリタン山形において、組合の代表者100余名が出席し「知事を囲んでの意見交換会」を開催した。来賓として、吉村美栄子山形県知事、大澤賢史山形県商工労働観光部長、泉洋之山形県商工労働観光部中小企業振興課長、今泉直行商工組合中央金庫山形支店長が出席した。

吉村知事の挨拶後、本会山本惣一会長が座長となり、中小企業青年中央会並びに組合青年部より現状報告及び県に対する要望がなされその後、意見交換を行った。

中小企業青年中央会並びに組合青年部「発言」

山形県中小企業青年中央会 会長 玉井 優 氏



青年中央会の活動を通して各青年部や業界を超えた交流を図ることは、各企業や参加する個人にとって有益であり、そうなるような事業を青年中央会として検討し、参加者を増やし、活動の幅を広げていきたいと考えている。青年中央会に加盟していない青年部があるところはぜひ加盟していただき、青年部がない組合においては青年部を組織して、青年中央会の活動に積極的に参加していただきたい。

来年度は、全国中小企業青年中央会の通常総会を山形で開催を予定しており、全国から多くの仲間が山形に集まる。この機会に県内の多くの若手経営者に参加していただき、青年中央会の活動に対して理解を深め、事業の拡大と参加してもらおうきっかけにしたいと考えている。全国大会の概要は、平成27年6月19日(金)に山形グランドホテルでの開催を予定している。参加者は300名を目標に現在、実行委員会で動員を目指しており、県外からは200名、県内から100名の動員で頑張っていきたいと考えている。当日は、吉村知事に懇親会に参加をいただき、ご祝辞を頂戴したい。また、会場では県産品をPRするブースを設置し、全国へ山形を発信するいい機会と考えているのでこちらについてもご支援とご協力をお願いしたい。

山形県自動車車体整備協同組合青年部会 部会長 大江 正人 氏



少子高齢化社会が進むことで車の保有台数も減少することが予想され、それに比例して整備の台数も減っていくと思われる。車の台数が減っても板金工場の数が同じであれば、1社当たりの入庫台数も減っていき、会社自体が淘汰されていくこととなる。本来青年部員同士は商売敵ではあるが、業界として高いレベルで均質化された技術・知識を持ち、維持していくために青年部一丸となって日々の勉強が必要となるので、できるだけ講習会参加率を高めていきたい。現在の業界は人手不足により若い社員がほとんどいない会社もあり、技術や知識を含めた経験を承継しようにも、受け継ぐ人材がいなければ途切れてしまう。そのため、若者に板金塗装を知る、学ぶ機会を作っていただきたい。即戦力となるぐらいであれば理想的だが、板金塗装についてある程度の技術を学べるような環境を整えていただければ大変ありがたい。

山形麺類食堂協同組合青年会 会長 小笠原 彰 氏



今後の青年部の活動については、より山形のそばというものをPRしていきたいと考えている。花笠まつりでは冷やしラーメンの販売や、親組合としての出店としてはあるが、山形と仙台の交流イベントである仙山交流味祭にも冷やしラーメンで出店を行った。しかし、青年部あるいは組合としてはそばの提供はあまりやっていないため、今後はそばのブース出店を重点的にやっていきたいと考えている。県主催で開催される物産展、特に県外での開催の際には、そばの試食のブースを設けていただき、ぜひとも私も麺組合青年部にお声がけいただきたい。山形のそば屋のおいしいそばを県外の方に知っていただく機会を増やすことで、より多くの方の来県のきっかけとなるよう青年部としても努力していくため、ご協力をお願いしたい。